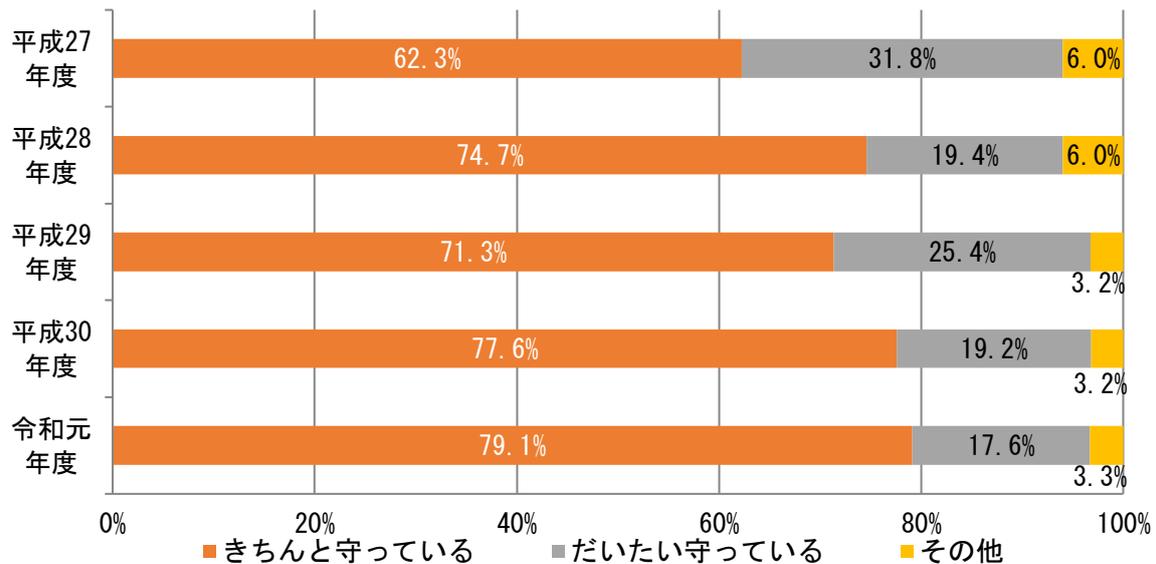


■ 「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について

問 15. 現在の熊本市のごみ出しルールを守っていますか。(1つだけ)

「きちんと守っている」が79.1%と最も高く、次いで「だいたい守っている」が17.6%、「どちらともいえない」が1.1%となっている。

前回調査と比較すると、「きちんと守っている」が1.5ポイント上昇しており、平成27年度以降の調査で過去最高値となった。「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は96.7%となり、平成27年度の94.1%から上昇している。



※ 上記グラフの「その他」については、「どちらともいえない」、「あまり守っていない」、「全然守っていない」、「分からない」、「無回答」を合算した数値である。

なお、「分からない」という回答肢は平成28年度まで設定しており、それぞれの数値は以下のとおりである。

回答肢	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
どちらともいえない	1.9%	1.0%	1.2%	0.8%	1.1%
あまり守っていない	0.9%	0.3%	0.1%	0.3%	0.3%
全然守っていない	—	—	0.1%	0.1%	—
分からない	0.7%	0.4%	—	—	—
無回答	2.5%	4.3%	1.8%	2.0%	1.9%

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は40歳代が99.0%と最も高く、次いで50歳代（97.9%）、20歳代（97.6%）となっている。

職業別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は農林漁業、公務員、学生が100%で最も高く、次いで自営業（98.8%）、会社員（97.9%）となっている。

地区別：「きちんと守っている」と「だいたい守っている」を合わせた割合は東区が98.2%と最も高く、次いで西区（97.9%）、中央区、北区（96.5%）となっている。

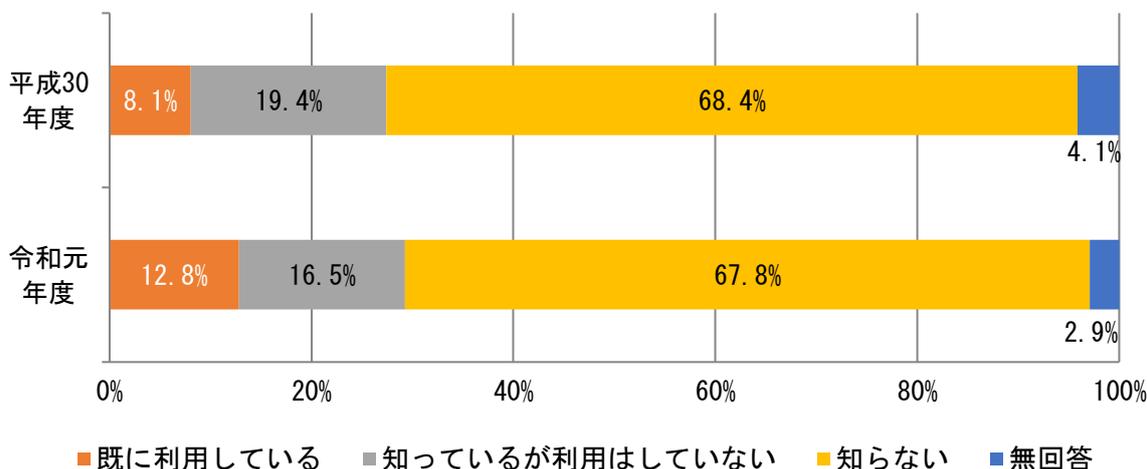
■属性別回答

	合計	きちんと守っている	だいたい守っている	どちらともいえない	あまり守っていない	全然守っていない	無回答
全体	1,130	79.1%	17.6%	1.1%	0.3%	—	1.9%
<b>年齢別</b>							
20歳代	80	61.3%	36.3%	2.5%	—	—	—
30歳代	144	68.8%	27.8%	2.8%	0.7%	—	—
40歳代	193	76.7%	22.3%	1.0%	—	—	—
50歳代	184	78.3%	19.6%	0.5%	—	—	1.6%
60歳代	220	87.7%	9.5%	0.9%	—	—	1.8%
70歳代	191	87.4%	9.4%	0.5%	1.0%	—	1.6%
80歳代	93	81.7%	6.5%	—	—	—	11.8%
<b>職業別</b>							
会社員	375	76.8%	21.1%	0.5%	0.3%	—	1.3%
自営業	82	73.2%	25.6%	1.2%	—	—	—
農林漁業	12	83.3%	16.7%	—	—	—	—
公務員	82	84.1%	15.9%	—	—	—	—
学生	14	78.6%	21.4%	—	—	—	—
無職	396	83.1%	11.9%	0.8%	0.5%	—	3.8%
その他	141	75.9%	19.9%	3.5%	—	—	0.7%
<b>地区別</b>							
中央区	260	76.5%	20.0%	1.9%	0.4%	—	1.2%
東区	276	83.3%	14.9%	0.7%	0.4%	—	0.7%
西区	142	76.1%	21.8%	—	—	—	2.1%
南区	216	80.6%	15.7%	0.9%	0.5%	—	2.3%
北区	198	79.8%	16.7%	0.5%	—	—	3.0%

問16. スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか。(1つだけ)

「知らない」が67.8%と最も高く、次いで「知っているが利用はしていない」が16.5%、「既に利用している」が12.8%となっている。

「既に利用している」割合は、前回調査から4.7ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「既に利用している」は30歳代が19.4%で最も高く、「知っているが利用はしていない」、「知らない」は70歳代が19.4%、73.3%で最も高くなっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は30歳代が36.1%と最も高く、次いで40歳代（35.7%）、20歳代（35.1%）となっている。

職業別：「既に利用している」は公務員が26.8%で最も高く、「知っているが利用はしていない」はその他が21.3%で最も高く、「知らない」は学生が78.6%で最も高くなっている。

「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は公務員が43.9%と最も高く、次いでその他（36.9%）、農林漁業（33.4%）となっている。

地区別：「既に利用している」は中央区が15.4%で最も高く、「知っているが利用はしていない」は東区が19.6%で最も高く、「知らない」は北区が71.7%で最も高くなっている。

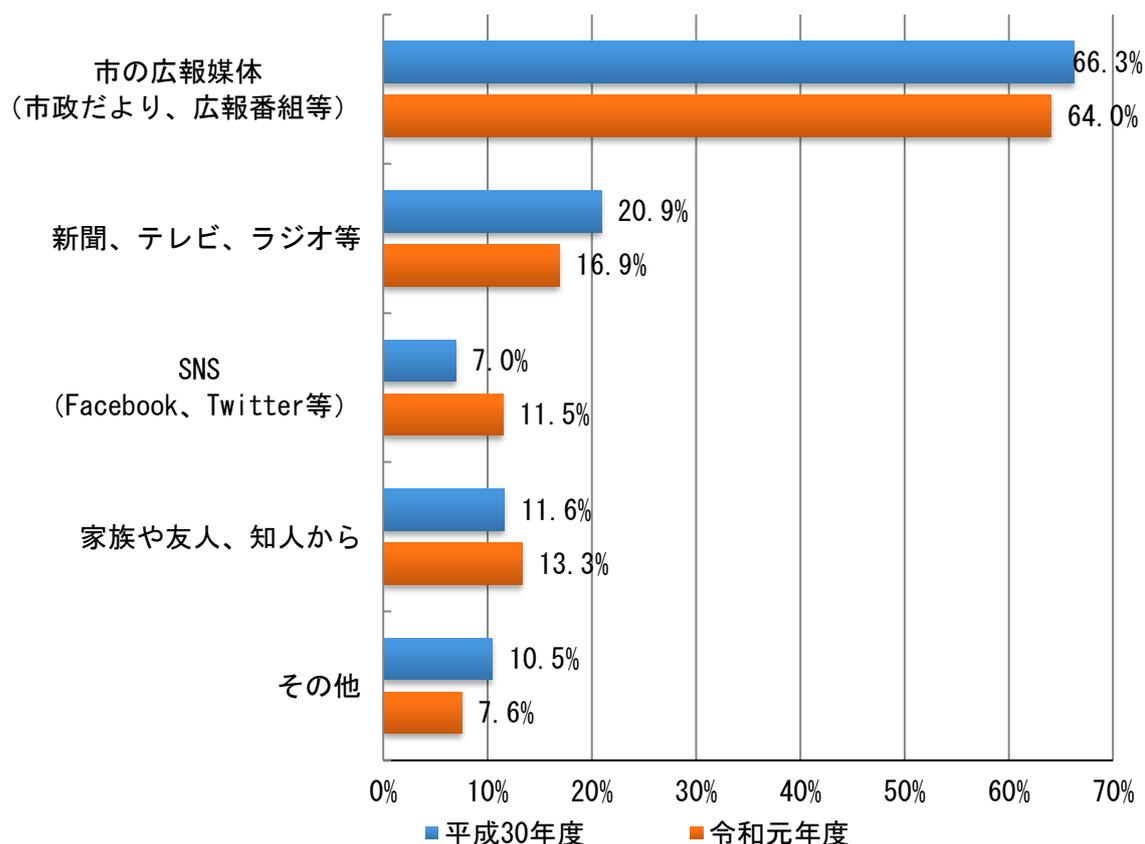
「既に利用している」、「知っているが利用はしていない」を合わせた割合は東区が31.2%と最も高く、次いで西区（30.3%）、南区（30.1%）となっている。

■属性別回答

	合計	既に利用している	知っているが 利用はしていない	知らない	無回答
全体	1,130	12.8%	16.5%	67.8%	2.9%
<b>年齢別</b>					
20歳代	80	18.8%	16.3%	65.0%	—
30歳代	144	19.4%	16.7%	63.2%	0.7%
40歳代	193	18.1%	17.6%	61.7%	2.6%
50歳代	184	15.2%	17.9%	64.7%	2.2%
60歳代	220	8.2%	15.0%	73.2%	3.6%
70歳代	191	5.8%	19.4%	73.3%	1.6%
80歳代	93	9.7%	8.6%	69.9%	11.8%
<b>職業別</b>					
会社員	375	14.4%	16.0%	66.7%	2.9%
自営業	82	12.2%	17.1%	69.5%	1.2%
農林漁業	12	16.7%	16.7%	66.7%	—
公務員	82	26.8%	17.1%	56.1%	—
学生	14	14.3%	7.1%	78.6%	—
無職	396	8.1%	15.2%	72.5%	4.3%
その他	141	15.6%	21.3%	61.0%	2.1%
<b>地区別</b>					
中央区	260	15.4%	14.6%	67.3%	2.7%
東区	276	11.6%	19.6%	65.6%	3.3%
西区	142	13.4%	16.9%	66.2%	3.5%
南区	216	15.3%	14.8%	67.6%	2.3%
北区	198	10.1%	16.2%	71.7%	2.0%

問16-1. (問16. で「既に利用している」又は「知っているが利用はしていない」と答えられた方)「熊本市ごみ分別アプリ」をどこで知りましたか。(複数回答可)

問16. で「既に利用している」又は「知っているが利用はしていない」と回答した331人については、「市の広報媒体」が64.0%と最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ等」が16.9%、「家族や友人、知人から」が13.3%となっている。



【参考】

「その他」の内容

- ・ ごみの分別方法をインターネットで検索して知った
- ・ 転入時の市の窓口で案内があった
- ・ 不動産会社で案内があった
- ・ ごみ収集カレンダー

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「市の広報媒体」、「新聞、テレビ、ラジオ等」は80歳代が82.4%、52.9%で最も高く、「SNS」は30歳代が19.2%、「家族や友人、知人から」は70歳代が27.1%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「市の広報媒体」は北区が69.2%で最も高く、「新聞、テレビ、ラジオ等」は西区が25.6%、「SNS」は南区が16.9%、「家族や友人、知人から」は中央区が16.7%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	(市政だより、市政広報番組等) 市の広報媒体	新聞、テレビ、ラジオ等	(Facebook、Twitter等) SNS	家族や友人、知人から	その他
全体	331	64.0%	16.9%	11.5%	13.3%	7.6%
<b>年齢別</b>						
20歳代	28	46.4%	3.6%	10.7%	21.4%	17.9%
30歳代	52	44.2%	9.6%	19.2%	11.5%	17.3%
40歳代	69	59.4%	13.0%	11.6%	10.1%	10.1%
50歳代	61	72.1%	16.4%	14.8%	8.2%	4.9%
60歳代	51	76.5%	17.6%	11.8%	5.9%	—
70歳代	48	70.8%	27.1%	2.1%	27.1%	2.1%
80歳代	17	82.4%	52.9%	5.9%	17.6%	—
<b>職業別</b>						
会社員	114	50.0%	10.5%	14.0%	16.7%	11.4%
自営業	24	62.5%	29.2%	—	16.7%	4.2%
農林漁業	4	75.0%	25.0%	—	—	25.0%
公務員	36	58.3%	8.3%	16.7%	8.3%	13.9%
学生	3	33.3%	—	—	33.3%	33.3%
無職	92	77.2%	30.4%	12.0%	10.9%	2.2%
その他	52	76.9%	9.6%	9.6%	9.6%	3.8%
<b>地区別</b>						
中央区	78	59.0%	9.0%	15.4%	16.7%	6.4%
東区	86	67.4%	19.8%	10.5%	10.5%	7.0%
西区	43	55.8%	25.6%	4.7%	9.3%	14.0%
南区	65	66.2%	12.3%	16.9%	15.4%	6.2%
北区	52	69.2%	25.0%	7.7%	11.5%	7.7%

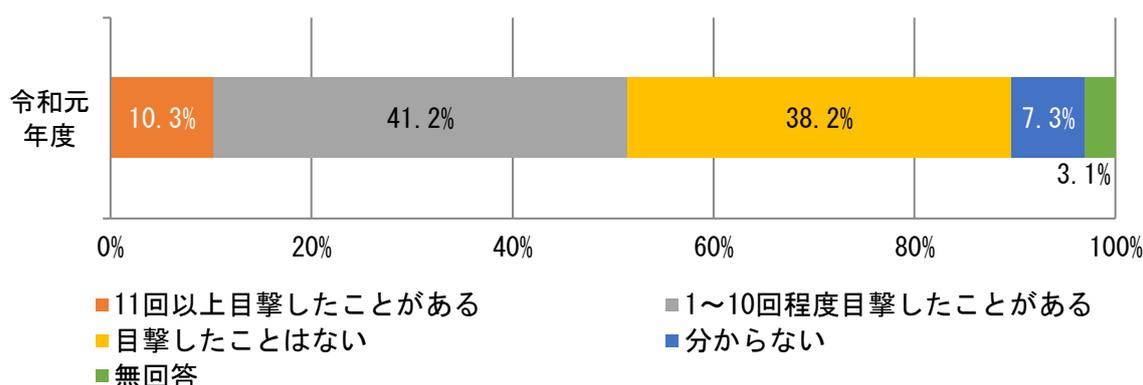
問17. この1年でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。

(1つだけ)

令和元年度よりごみステーションからの資源物持ち去りについて新規で設問を追加し調査を行った。

「1～10回程度目撃したことがある」が41.2%と最も高く、次いで「目撃したことはない」が38.2%、「11回以上目撃したことがある」が10.3%となっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合は51.5%である。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「11回以上目撃したことがある」は50歳代が12.5%で最も高く、「1～10回程度目撃したことがある」は60歳代が50.9%、「目撃したことはない」は20歳代が66.3%と最も高くなっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合は40歳代以上が50%以上となっているのに対し、30歳代以下は半数を下回っている。

職業別：「11回以上目撃したことがある」は農林漁業が25.0%で最も高く、「1～10回程度目撃したことがある」はその他が50.4%、「目撃したことはない」は学生が71.4%と最も高くなっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合は自営業、農林漁業、公務員、無職、その他が50%以上となっているのに対し、会社員、学生は半数を下回っている。

地区別：「11回以上目撃したことがある」は西区が12.7%で最も高く、「1～10回程度目撃したことがある」は中央区が47.3%、「目撃したことはない」は北区が43.4%と最も高くなっている。

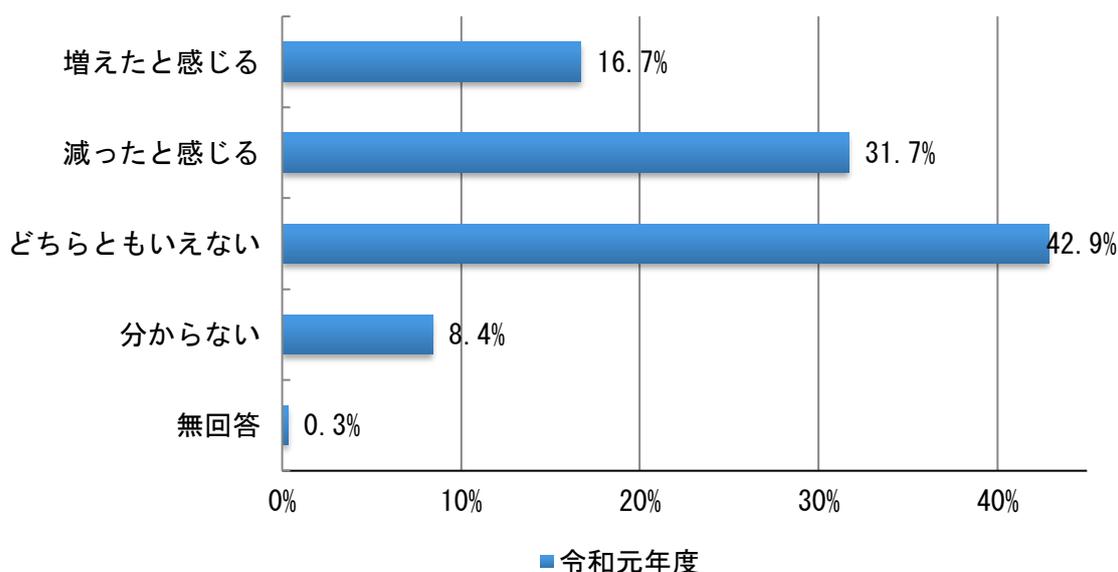
「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合は中央区、東区、西区、南区が50%以上となっているのに対し、北区は半数を下回っている。

■属性別回答

	合計	二回以上目撃したことがある	二〜三回程程度目撃したことがある	目撃したことはない	分からない	無回答
全体	1,130	10.3%	41.2%	38.2%	7.3%	3.1%
<b>年齢別</b>						
20歳代	80	7.5%	13.8%	66.3%	10.0%	2.5%
30歳代	144	11.8%	26.4%	52.1%	8.3%	1.4%
40歳代	193	12.4%	43.5%	34.2%	7.3%	2.6%
50歳代	184	12.5%	45.7%	33.7%	6.5%	1.6%
60歳代	220	7.3%	50.9%	33.6%	5.0%	3.2%
70歳代	191	9.9%	45.5%	30.9%	9.9%	3.7%
80歳代	93	10.8%	39.8%	35.5%	5.4%	8.6%
<b>職業別</b>						
会社員	375	11.2%	37.6%	41.1%	6.7%	3.5%
自営業	82	11.0%	39.0%	37.8%	12.2%	—
農林漁業	12	25.0%	25.0%	33.3%	8.3%	8.3%
公務員	82	15.9%	35.4%	42.7%	4.9%	1.2%
学生	14	—	21.4%	71.4%	7.1%	—
無職	396	8.3%	43.7%	34.8%	8.6%	4.5%
その他	141	10.6%	50.4%	34.8%	3.5%	0.7%
<b>地区別</b>						
中央区	260	8.8%	47.3%	37.7%	4.6%	1.5%
東区	276	11.2%	40.9%	37.3%	7.2%	3.3%
西区	142	12.7%	38.7%	31.7%	12.0%	4.9%
南区	216	11.6%	40.3%	39.4%	5.6%	3.2%
北区	198	9.1%	36.4%	43.4%	8.6%	2.5%

問17-1. (問17.で「11回以上目撃したことがある」又は「1~10回程度目撃したことがある」と答えられた方)この1年以内で、持ち去り行為を目撃する回数が増えたと感じますか。(1つだけ)

問17.で「11回以上目撃したことがある」又は「1~10回程度目撃したことがある」と回答した581人については、「どちらともいえない」が42.9%と最も高く、次いで「減ったと感じる」が31.7%、「増えたと感じる」が16.7%となっている。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「増えたと感じる」は30歳代が23.6%と最も高く、「減ったと感じる」は80歳代が40.4%、「どちらともいえない」は50歳代が51.4%と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

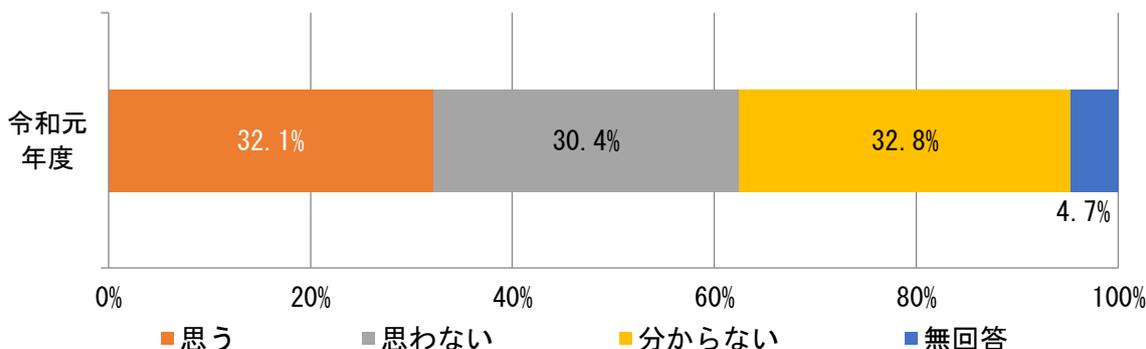
地区別：「増えたと感じる」は西区が20.5%と最も高く、「減ったと感じる」は東区が38.2%、「どちらともいえない」は北区が53.3%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	増えたと感じる	減ったと感じる	どちらともいえない	分からない	無回答
全体	581	16.7%	31.7%	42.9%	8.4%	0.3%
<b>年齢別</b>						
20歳代	17	11.8%	17.6%	47.1%	23.5%	—
30歳代	55	23.6%	16.4%	45.5%	14.5%	—
40歳代	108	19.4%	27.8%	41.7%	10.2%	0.9%
50歳代	107	13.1%	31.8%	51.4%	3.7%	—
60歳代	128	14.8%	36.7%	43.0%	4.7%	0.8%
70歳代	106	20.8%	38.7%	30.2%	10.4%	—
80歳代	47	10.6%	40.4%	44.7%	4.3%	—
<b>職業別</b>						
会社員	183	20.2%	24.6%	45.9%	8.7%	0.5%
自営業	41	14.6%	43.9%	39.0%	2.4%	—
農林漁業	6	66.7%	33.3%	—	—	—
公務員	42	9.5%	21.4%	57.1%	11.9%	—
学生	3	—	66.7%	33.3%	—	—
無職	206	13.1%	39.8%	37.9%	9.2%	—
その他	86	19.8%	29.1%	44.2%	5.8%	1.2%
<b>地区別</b>						
中央区	146	17.8%	30.1%	44.5%	7.5%	—
東区	144	14.6%	38.2%	36.8%	10.4%	—
西区	73	20.5%	31.5%	45.2%	1.4%	1.4%
南区	112	17.9%	37.5%	37.5%	6.3%	0.9%
北区	90	14.4%	21.1%	53.3%	11.1%	—

問18. 持ち去り行為を防ぐために市が作成した「持ち去り禁止意思表示テープ」を使用したいと思いますか。(1つだけ)

「分からない」が32.8%と最も高く、次いで「思う」が32.1%、「思わない」が30.4%と拮抗している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「思う」は70歳代が43.5%と最も高く、次いで80歳代（43.0%）、20歳代（32.5%）となっている。

「思わない」は30歳代が41.0%と最も高く、次いで40歳代（35.2%）、60歳代（33.2%）となっている。

「分からない」は20歳代が40.0%と最も高く、40歳代（37.8%）、30歳代（37.5%）となっている。

職業別：「思う」はその他が34.8%と最も高く、次いで無職（34.6%）、自営業と公務員（30.5%）となっている。

「思わない」は農林漁業が66.7%と最も高く、次いで学生（42.9%）、自営業（34.1%）となっている。

「分からない」は会社員が35.7%と最も高く、次いで公務員（35.4%）、その他（32.6%）となっている。

地区別：「思う」は西区が39.4%と最も高く、次いで北区（35.4%）、中央区（32.7%）となっている。

「思わない」は東区が36.2%と最も高く、次いで南区（31.9%）、中央区（30.8%）となっている。

「分からない」は西区が35.9%と最も高く、次いで南区（34.3%）、中央区（33.5%）となっている。

■属性別回答

	合計	思う	思わない	分からない	無回答
全体	1,130	32.1%	30.4%	32.8%	4.7%
<b>年齢別</b>					
20歳代	80	32.5%	26.3%	40.0%	1.3%
30歳代	144	20.8%	41.0%	37.5%	0.7%
40歳代	193	26.4%	35.2%	37.8%	0.5%
50歳代	184	28.8%	32.6%	35.3%	3.3%
60歳代	220	32.3%	33.2%	31.4%	3.2%
70歳代	191	43.5%	20.9%	23.6%	12.0%
80歳代	93	43.0%	18.3%	28.0%	10.8%
<b>職業別</b>					
会社員	375	29.6%	33.6%	35.7%	1.1%
自営業	82	30.5%	34.1%	30.5%	4.9%
農林漁業	12	16.7%	66.7%	—	16.7%
公務員	82	30.5%	30.5%	35.4%	3.7%
学生	14	28.6%	42.9%	28.6%	—
無職	396	34.6%	25.5%	31.6%	8.3%
その他	141	34.8%	31.2%	32.6%	1.4%
<b>地区別</b>					
中央区	260	32.7%	30.8%	33.5%	3.1%
東区	276	27.5%	36.2%	30.8%	5.4%
西区	142	39.4%	20.4%	35.9%	4.2%
南区	216	29.6%	31.9%	34.3%	4.2%
北区	198	35.4%	28.3%	32.3%	4.0%

問19. 持ち去り行為を防ぐためにはどのような対策が有効であると思いますか。ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。(1つだけ)

■いただいた意見を以下項目に分類し、重複するものを除きそのまま以下に列挙する。

#### 監視カメラ等の設備の導入 (55 件)

- ・ 監視カメラの設置
- ・ 人感式ライトの設置
- ・ 人が近づくと音が出る装置の設置

#### 買取り業者の買取り拒否 (53 件)

- ・ 人がいても持っていく人は持っていくので、持っていったものが現金化できないような仕組みを作ったほうがよい。
- ・ 持ち去って換金できるシステムを断つこと。
- ・ 買取り業者との連携

#### 罰則の強化 (48 件)

- ・ 罰則の強化
- ・ 注意や指導でなく現行犯で即時検挙を。

#### 巡回、監視の徹底 (48 件)

- ・ 行政や警察による巡回
- ・ 自治会に依頼し交代でチェックしてもらう。市から指導する権限をもらった人が監視する。
- ・ シルバー世代の活用 (登下校時の児童見守りのように)

#### 福祉的な観点からの対策 (29 件)

- ・ 生活が苦しいから持ち去りを行うと思うので、このような人たちが違う形で生活できるようにして欲しい。
- ・ 持ち去り行為を行っている者はそれで収入を得ているので、その者を行政に取り込み、許可制としてごみステーションの管理を含めその者自身が地域の環境リーダーになれば地域の活性化につながると思います。
- ・ 持ち去りをする人に持ち去る理由を聞いてそれを解決すること。
- ・ 持ち去りする人に職を与える。

#### 施錠できるごみステーションの設置 (25 件)

- ・ ごみステーションを施錠式にして、住民と収集業者しか知らないダイヤル式のカギを付ける。
- ・ ごみステーションの一角に鍵がかかるスペースをつくりその中に資源物を入れる。全てのステーションに設置不可能な時は、資源物のみ収集箇所を集約する。

#### 警告看板等の設置（16件）

- ・ 持ち去り禁止の看板を設置する。
- ・ 持ち去り行為者の現場写真をごみステーションに貼る（顔はモザイク処理）。
- ・ 持ち去り禁止テープはあった方が良くと思う（ごみ袋と同じで個人の負担にならないようにしてほしい）。

#### 広報の強化（13件）

- ・ 持ち去り行為がなぜいけないのかが分からない。そもそもなぜいけないのかを積極的に広報することが必要だと思う。
- ・ 取り締まっているのかが分からないので、取り締まったり捕まえたりしたことを大々的に広報してほしい（地方のTVニュース、ラジオニュース、市の広報誌、市のホームページなどで）。
- ・ 市ホームページでは毎日写真付き地図（取り締まった場所）を更新して欲しい。
- ・ 厳しい罰則を、と思ったがネットで検索したら既に罰則があることを知った。このような情報をどの程度市民が知っているのか。
- ・ インターネットで調べてみたら持ち去り被害で熊本市の損害が大きいことを知った。市民に持ち去りは悪いことで熊本市は損害を受けていることをもっと広報すべきだと思う。
- ・ なぜ持ち去ってはいけないかという意識啓発が必要では。

#### その他

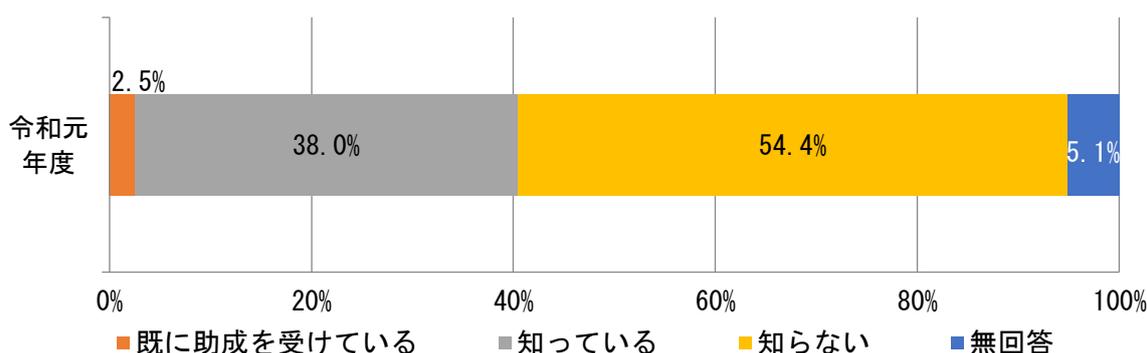
- ・ ○○会が組織ぐるみでごみ置き場から資源物を持ち去りしているので、○○会へ通告し助成金を減らす。
- ・ 専用通報窓口を分かりやすくして罰則や罰金を強化する。
- ・ 夜に収集して持ち去り行為を少しでも防ぐ。
- ・ 町内の廃品回収の活用
- ・ 収集袋やテープを派手にして持ち運びにくくする。蛍光色や持ち運ぶのが恥ずかしいくらいかわいいなど。運んでいるときに周りに見えるくらい大ききで「持ち去り禁止」の文字が見えるくらい目立つものが良いと思う。
- ・ いらなくなったものを捨てているのでそれがどうなろうと何も思わない。

## 問20. 生ごみ処理機を購入する助成金制度を知っていますか。(1つだけ)

令和元年度より生ごみ処理機を購入する助成金について新規で設問を追加し調査を行った。

「知らない」が54.4%と最も高く、次いで「知っている」が38.0%、「すでに助成を受けている」が2.5%となっている。

「すでに助成を受けている」、「知っている」を合わせた助成金制度の認知割合は40.5%である。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「すでに助成を受けている」、「知っている」は50歳代がそれぞれ4.3%、46.7%で最も高く、「知らない」は20歳代が82.5%と最も高くなっている。

「すでに助成を受けている」、「知っている」を合わせた割合は50歳代が51.0%と最も高く、次いで40歳代(50.2%)、70歳代(42.4%)となっている。

職業別：「すでに助成を受けている」は自営業と公務員が4.9%で最も高く、「知っている」はそのほか48.9%、「知らない」は学生が85.7%と最も高くなっている。

「すでに助成を受けている」、「知っている」を合わせた割合はそのほか52.5%と最も高く、次いで公務員(47.6%)、自営業(42.7%)となっている。

地区別：「すでに助成を受けている」は北区が5.6%で最も高く、「知っている」は東区が40.2%、「知らない」は南区が58.8%と最も高くなっている。

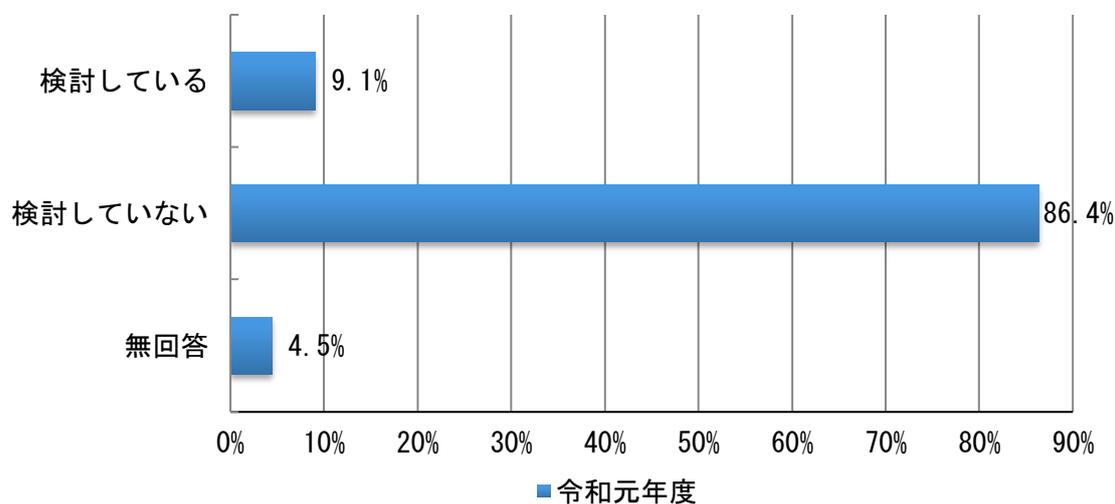
「すでに助成を受けている」、「知っている」を合わせた割合は北区が45.5%と最も高く、次いで東区(42.7%)、南区(38.9%)となっている。

■属性別回答

	合計	既に助成を受けている	知っている	知らない	無回答
全体	1,130	2.5%	38.0%	54.4%	5.1%
<b>年齢別</b>					
20歳代	80	—	16.3%	82.5%	1.3%
30歳代	144	0.7%	31.3%	66.7%	1.4%
40歳代	193	4.1%	46.1%	46.6%	3.1%
50歳代	184	4.3%	46.7%	47.3%	1.6%
60歳代	220	2.3%	38.2%	56.4%	3.2%
70歳代	191	2.1%	40.3%	47.6%	9.9%
80歳代	93	2.2%	29.0%	53.8%	15.1%
<b>職業別</b>					
会社員	375	1.6%	33.3%	61.9%	3.2%
自営業	82	4.9%	37.8%	53.7%	3.7%
農林漁業	12	—	25.0%	66.7%	8.3%
公務員	82	4.9%	42.7%	51.2%	1.2%
学生	14	—	14.3%	85.7%	—
無職	396	2.3%	39.4%	50.5%	7.8%
その他	141	3.5%	48.9%	45.4%	2.1%
<b>地区別</b>					
中央区	260	1.2%	36.9%	56.9%	5.0%
東区	276	2.5%	40.2%	51.8%	5.4%
西区	142	2.1%	36.6%	55.6%	5.6%
南区	216	1.9%	37.0%	58.8%	2.3%
北区	198	5.6%	39.9%	51.5%	3.0%

問20-1. (問20. で「知っている」又は「知らない」と答えられた方) 生ごみ処理機の購入助成を検討していますか。(1つだけ)

問20. で「知っている」又は「知らない」と回答した1,044人については、「検討していない」が86.4%と最も高く、「検討している」は9.1%となった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「検討している」は80歳代が15.6%で最も高く、「検討していない」は60歳代が92.8%で最も高くなっている。

職業別：「検討している」は農林漁業が18.2%で最も高く、「検討していない」は公務員が89.6%で最も高くなっている。

地区別：「検討している」は西区が10.7%で最も高く、「検討していない」は東区が87.8%で最も高くなっている。

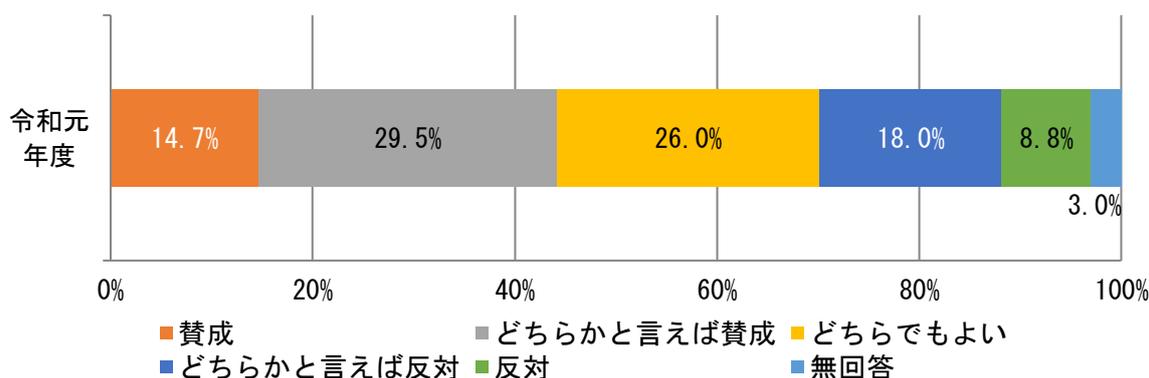
■属性別回答

	合計	検討している	検討していない	無回答
全体	1,044	9.1%	86.4%	4.5%
<b>年齢別</b>				
20歳代	79	6.3%	86.1%	7.6%
30歳代	141	8.5%	85.8%	5.7%
40歳代	179	8.9%	88.3%	2.8%
50歳代	173	7.5%	89.6%	2.9%
60歳代	208	5.8%	92.8%	1.4%
70歳代	168	13.7%	77.4%	8.9%
80歳代	77	15.6%	77.9%	6.5%
<b>職業別</b>				
会社員	357	8.7%	87.4%	3.9%
自営業	75	10.7%	85.3%	4.0%
農林漁業	11	18.2%	72.7%	9.1%
公務員	77	10.4%	89.6%	—
学生	14	—	78.6%	21.4%
無職	356	8.4%	85.4%	6.2%
その他	133	10.5%	86.5%	3.0%
<b>地区別</b>				
中央区	244	8.6%	86.9%	4.5%
東区	254	8.3%	87.8%	3.9%
西区	131	10.7%	85.5%	3.8%
南区	207	8.2%	86.0%	5.8%
北区	181	10.5%	84.5%	5.0%

問21. 近年、熊本市の家庭ごみのリサイクル率は横ばい傾向にあります。リサイクルを推進するために、分別品目数を増やすことについてどう思われますか。(1つだけ)  
令和元年度よりリサイクル推進を目的とした分別品目数を増やすことについて新規で設問を追加し調査を行った。

「どちらかといえば賛成」が29.5%と最も高く、次いで「どちらでもよい」が26.0%、「どちらかといえば反対」が18.0%となっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は44.2%であり、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は26.8%である。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「賛成」は70歳代が18.8%で最も高く、「どちらかといえば賛成」は80歳代が34.4%、「どちらでもよい」は30歳代が34.0%、「どちらかといえば反対」は20歳代が26.3%、「反対」は30歳代が16.0%と最も高くなっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、80歳代が51.6%と最も高く、次いで70歳代(51.3%)、60歳代(49.1%)となっている。対して「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は50歳代が33.2%と最も高く、次いで30歳代(32.7%)、20歳代(32.6%)となっている。

職業別：「賛成」、「どちらかといえば賛成」は農林漁業がいずれも33.3%、「反対」も農林漁業が16.7%と最も高く、「どちらでもよい」は無職で29.0%、「どちらかといえば反対」は学生が28.6%と最も高くなっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、農林漁業が66.6%と最も高く、次いでその他(50.3%)、公務員(46.3%)となっている。また、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は学生が42.9%と最も高く、次いで会社員(33.9%)、自営業(29.3%)となっている。

地区別：「賛成」は西区が18.3%で最も高く、「どちらかといえば賛成」、「反対」は南区が35.6%、10.2%、「どちらでもよい」は北区が32.3%、「どちらかといえば反対」は中央区が21.9%と最も高くなっている。

「賛成」、「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、西区が49.3%と最も高く、次いで南区（47.2%）、東区（44.6%）となっている。また、「どちらかといえば反対」、「反対」を合わせた割合は中央区が31.5%と最も高く、次いで東区（28.2%）、南区（25.5%）となっている。

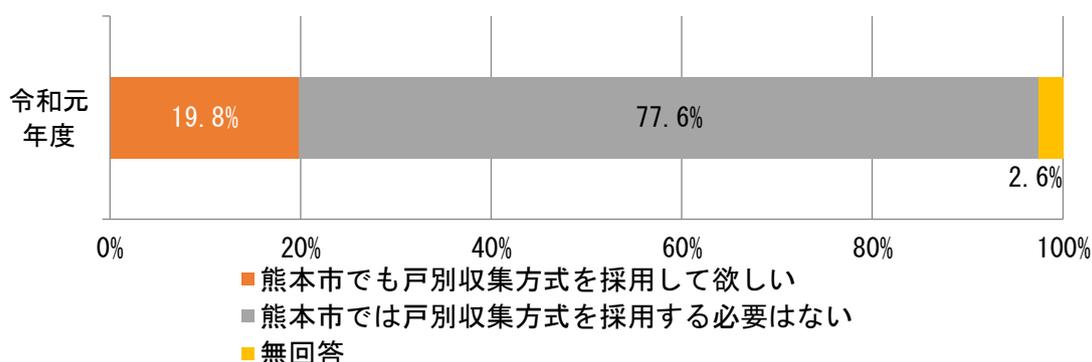
■属性別回答

	合計	賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもよい	どちらかといえば反対	反対	無回答
全体	1,130	14.7%	29.5%	26.0%	18.0%	8.8%	3.0%
<b>年齢別</b>							
20歳代	80	13.8%	30.0%	23.8%	26.3%	6.3%	—
30歳代	144	12.5%	20.8%	34.0%	16.7%	16.0%	—
40歳代	193	9.3%	32.1%	26.9%	20.2%	11.4%	—
50歳代	184	14.7%	26.1%	22.8%	24.5%	8.7%	3.3%
60歳代	220	16.8%	32.3%	27.7%	14.5%	7.3%	1.4%
70歳代	191	18.8%	32.5%	22.0%	15.2%	4.7%	6.8%
80歳代	93	17.2%	34.4%	24.7%	7.5%	7.5%	8.6%
<b>職業別</b>							
会社員	375	12.0%	28.5%	24.3%	21.6%	12.3%	1.3%
自営業	82	13.4%	31.7%	25.6%	19.5%	9.8%	—
農林漁業	12	33.3%	33.3%	8.3%	8.3%	16.7%	—
公務員	82	25.6%	20.7%	25.6%	20.7%	7.3%	—
学生	14	14.3%	21.4%	21.4%	28.6%	14.3%	—
無職	396	13.9%	31.3%	29.0%	13.6%	6.3%	5.8%
その他	141	17.7%	32.6%	25.5%	17.0%	6.4%	0.7%
<b>地区別</b>							
中央区	260	13.8%	28.8%	23.8%	21.9%	9.6%	1.9%
東区	276	13.8%	30.8%	25.4%	18.1%	10.1%	1.8%
西区	142	18.3%	31.0%	28.2%	14.1%	4.9%	3.5%
南区	216	11.6%	35.6%	23.6%	15.3%	10.2%	3.7%
北区	198	18.2%	22.7%	32.3%	17.2%	7.6%	2.0%

問22. 熊本市における家庭ごみの収集は、ご自宅の近くのごみステーションで収集する方式を採用しておりますが、他都市ではご自宅の前で収集する戸別収集方式を採用している都市もあります。このような戸別収集方式についてどう思われますか。(1つだけ)

令和元年度より戸別収集方式のニーズを把握するために新規で設問を追加し調査を行った。

「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」が77.6%で、「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」の19.8%を約3.9倍上回っている。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」は20歳代が36.3%と最も高く、次いで40歳代（21.2%）、80歳代（20.4%）となっている。「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」は30歳代と86.1%で最も高く、次いで50歳代（81.5%）、60歳代（80.0%）となっている。

職業別：「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」は自営業と公務員が25.6%と最も高く、次いでその他（24.1%）、無職（17.9%）となっている。「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」は学生が85.7%と最も高く、次いで農林漁業（83.3%）、会社員（81.6%）となっている。

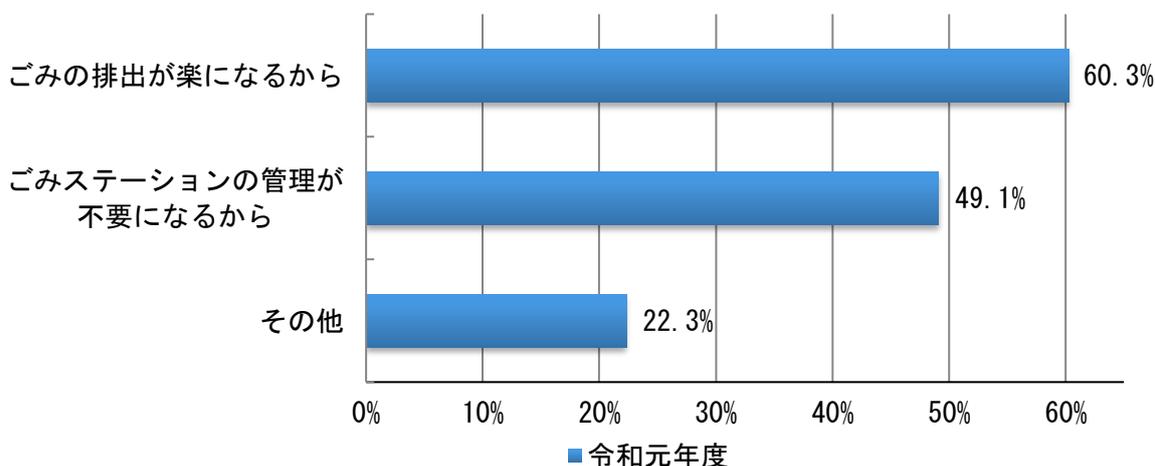
地区別：「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」は中央区と南区が20.8%と最も高く、次いで東区（18.8%）、西区（18.3%）となっている。「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」は北区が79.8%と最も高く、次いで東区（79.3%）、西区（78.9%）となっている。

■属性別回答

	合計	熊本市でも戸別収集方式を 採用して欲しい	熊本市では戸別収集方式を 採用する必要はない	無回答
全体	1,130	19.8%	77.6%	2.6%
<b>年齢別</b>				
20歳代	80	36.3%	63.8%	—
30歳代	144	13.9%	86.1%	—
40歳代	193	21.2%	78.2%	0.5%
50歳代	184	16.3%	81.5%	2.2%
60歳代	220	18.6%	80.0%	1.4%
70歳代	191	19.4%	75.9%	4.7%
80歳代	93	20.4%	68.8%	10.8%
<b>職業別</b>				
会社員	375	17.3%	81.6%	1.1%
自営業	82	25.6%	74.4%	—
農林漁業	12	16.7%	83.3%	—
公務員	82	25.6%	74.4%	—
学生	14	14.3%	85.7%	—
無職	396	17.9%	76.5%	5.6%
その他	141	24.1%	75.2%	0.7%
<b>地区別</b>				
中央区	260	20.8%	77.7%	1.5%
東区	276	18.8%	79.3%	1.8%
西区	142	18.3%	78.9%	2.8%
南区	216	20.8%	75.9%	3.2%
北区	198	17.7%	79.8%	2.5%

問22-1. (問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と答えられた方) どのような理由からそう思われますか。(複数回答可)

問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と回答した224人については、「ごみの排出が楽になるから」が60.3%と最も高く、次いで「ごみステーションの管理が不要になるから」が49.1%となった。



【参考】

「その他」の内容 (いただいた意見をそのまま記載)

- ルール違反ごみが減少するから (33件)
  - ・ 自宅前であれば違反ゴミは持って行かないので、無責任 (ルール違反ゴミを出す) なことができない。
  - ・ 現在、戸別収集方式に同等のような状況であるが、近隣の小型集合住宅のごみステーションはごみが散乱しているから、戸別収集方式がよいと思う。
  - ・ 他地区からのルール違反ごみの放置が無くなる。
- 高齢者などに限定して実施 (11件)
  - ・ 福祉の観点から一定の要介護度数の者には戸別収集の行政サービスがあってもいい。介護保険を使ってヘルパーにゴミ出しを頼む高齢者もいる。
  - ・ 高齢者や障がい者世帯には必要だと思う。その費用は段階的に分ける方がよい (必要な人が多く払う)
  - ・ 戸別収集方式は高齢者の対応など最小限の範囲でよい。
- 持ち去り行為の防止 (7件)
  - ・ 資源物は費用対効果によるが戸別収集が効果的かも。
  - ・ ごみの持ち去り行為防止につながるため。
- その他 (5件)
  - ・ 自宅前がステーションになっていて悪臭を我慢し、収集後の掃除を30年以上やっているから。
  - ・ 最近引っ越してきたばかりだが、ごみステーションに立っている町内の人がいて、監視されていてやりにくい。
  - ・ ごみステーションが自宅の敷地内で他人のごみを置かれることが不愉快
  - ・ ごみステーションが自宅から遠い。もともとステーションがあった場所が売却され所有者が変わったことでステーションが設置できなくなり町内で揉めている。自治会から市へ要望を出しているが1年以上解決していない。隣接する他の町内に仮置きしている現状であるので、戸別収集を望む。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「ごみの排出が楽になるから」は20歳代が82.8%と最も高く、次いで70歳代（75.7%）、80歳代（63.2%）となっている。「ごみステーションの管理が不要になるから」は30歳代が65.0%と最も高く、次いで40歳代（56.1%）、60歳代（53.7%）となっている。

職業別：母数が少ない職種があるため特段の分析を行わない。

地区別：「ごみの排出が楽になるから」は北区が68.6%と最も高く、次いで西区（65.4%）、東区（59.6%）となっている。「ごみステーションの管理が不要になるから」は東区が55.8%と最も高く、次いで西区（53.8%）、中央区（51.9%）となっている。

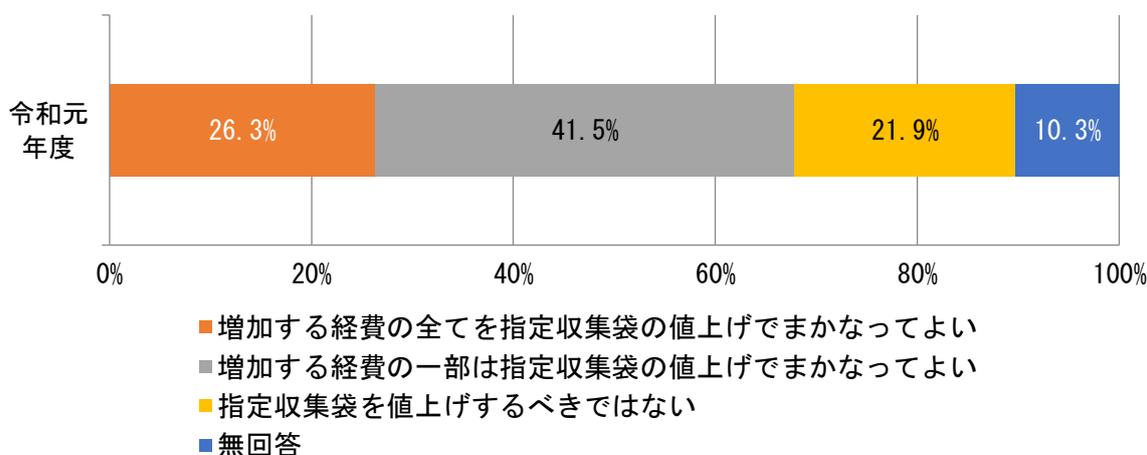
■属性別回答

	合計	ごみの排出が 楽になるから	ごみステーション の管理が不要に なるから	その他
全体	224	60.3%	49.1%	22.3%
<b>年齢別</b>				
20歳代	29	82.8%	41.4%	6.9%
30歳代	20	45.0%	65.0%	10.0%
40歳代	41	61.0%	56.1%	26.8%
50歳代	30	40.0%	46.7%	36.7%
60歳代	41	48.8%	53.7%	26.8%
70歳代	37	75.7%	48.6%	18.9%
80歳代	19	63.2%	21.1%	15.8%
<b>職業別</b>				
会社員	65	55.4%	53.8%	15.4%
自営業	21	57.1%	38.1%	14.3%
農林漁業	2	50.0%	—	50.0%
公務員	21	42.9%	61.9%	19.0%
学生	2	100.0%	50.0%	—
無職	71	62.0%	40.8%	25.4%
その他	34	73.5%	58.8%	32.4%
<b>地区別</b>				
中央区	54	51.9%	51.9%	20.4%
東区	52	59.6%	55.8%	32.7%
西区	26	65.4%	53.8%	15.4%
南区	45	57.8%	51.1%	22.2%
北区	35	68.6%	31.4%	11.4%

問22-2. (問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と答えられた方) 経費の増加をまかなう手法の一つとして、指定収集袋(ごみ袋)を値上げすることについてどのように思われますか。(1つだけ)

問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用してほしい」と回答した224人については、「増加する経費の一部は指定収集袋の値上げでまかなってよい」が41.5%と最も高く、次いで「増加する経費のすべてを指定収集袋の値上げでまかなってよい」が26.3%、「指定収集袋を値上げするべきではない」が21.9%となった。

「増加する経費の一部は指定収集袋の値上げでまかなってよい」と「増加する経費のすべてを指定収集袋の値上げでまかなってよい」を合わせた割合は67.8%となり、「指定収集袋を値上げするべきではない」の3倍強となっている。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「増加する経費のすべてを指定収集袋の値上げでまかなってよい」80歳代が36.8%と最も高く、次いで60歳代(36.6%)、40歳代(34.1%)となっている。「増加する経費の一部は指定収集袋の値上げでまかなってよい」は80歳代が47.4%と最も高く、次いで60歳代(46.3%)、30歳代(45.0%)となっている。

「指定収集袋を値上げするべきではない」は30歳代が35.0%と最も高く、次いで20歳代(31.0%)、50歳代(30.0%)となっている。

職業別：母数が少ない職種があるため特段の分析を行わない。

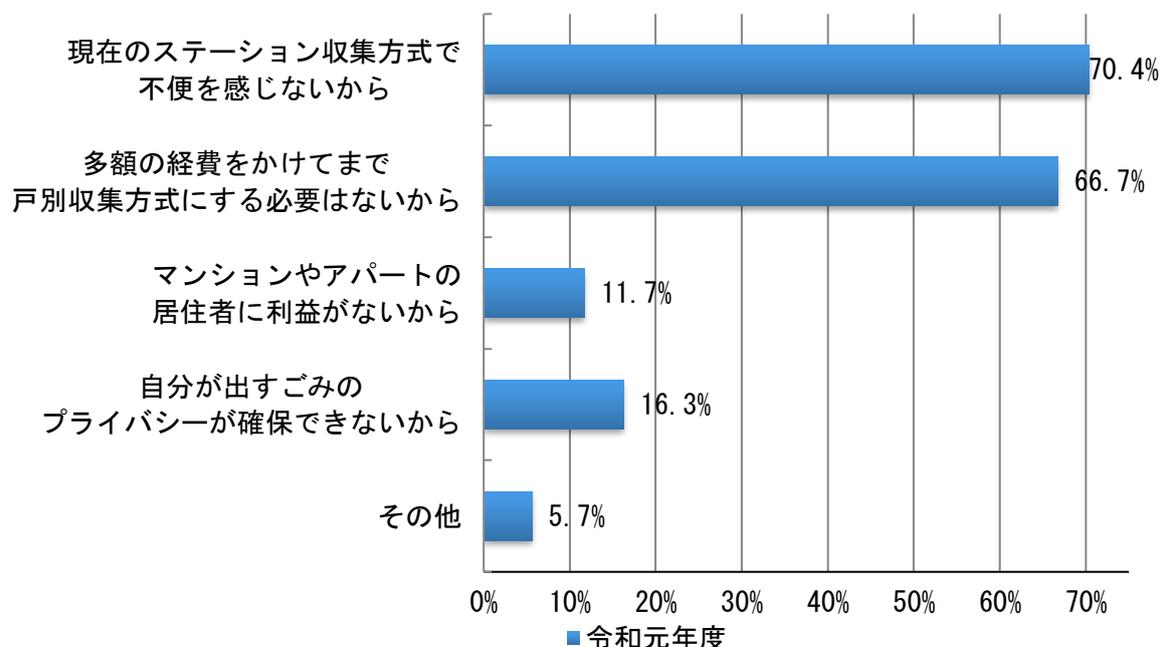
地区別：「増加する経費のすべてを指定収集袋の値上げでまかなってよい」中央区が31.5%と最も高く、次いで南区(31.1%)、北区(25.7%)となっている。「増加する経費の一部は指定収集袋の値上げでまかなってよい」は東区が53.8%と最も高く、次いで西区(46.2%)、北区(37.1%)となっている。「指定収集袋を値上げするべきではない」は北区が31.4%と最も高く、次いで西区(30.8%)、南区(22.2%)となっている。

■属性別回答

	合計	増加する経費の全てを指定収集袋の 値上げでまかなってよい	増加する経費の一部は指定収集袋の 値上げでまかなってよい	指定収集袋を値上げするべきでは ない	無回答
全体	224	26.3%	41.5%	21.9%	10.3%
<b>年齢別</b>					
20歳代	29	31.0%	34.5%	31.0%	3.4%
30歳代	20	15.0%	45.0%	35.0%	5.0%
40歳代	41	34.1%	31.7%	22.0%	12.2%
50歳代	30	26.7%	36.7%	30.0%	6.7%
60歳代	41	36.6%	46.3%	2.4%	14.6%
70歳代	37	8.1%	43.2%	27.0%	21.6%
80歳代	19	36.8%	47.4%	15.8%	—
<b>職業別</b>					
会社員	65	30.8%	41.5%	21.5%	6.2%
自営業	21	38.1%	38.1%	19.0%	4.8%
農林漁業	2	50.0%	—	50.0%	—
公務員	21	42.9%	33.3%	14.3%	9.5%
学生	2	—	50.0%	50.0%	—
無職	71	16.9%	46.5%	19.7%	16.9%
その他	34	26.5%	32.4%	32.4%	8.8%
<b>地区別</b>					
中央区	54	31.5%	35.2%	18.5%	14.8%
東区	52	25.0%	53.8%	13.5%	7.7%
西区	26	19.2%	46.2%	30.8%	3.8%
南区	45	31.1%	31.1%	22.2%	15.6%
北区	35	25.7%	37.1%	31.4%	5.7%

問22-3. (問22. で「熊本市では戸別収集方式を採用する必要はない」と答えられた方) どのような理由からそうお考えですか。(複数回答可)

問22. で「熊本市でも戸別収集方式を採用する必要はない」と回答した877人については、「現在のステーション収集方式で不便を感じないから」が70.4%と最も高く、次いで「多額の経費をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから」が66.7%、「自分が出すごみのプライバシーが確保できないから」が16.3%となった。



【参考】

「その他」の内容 (いただいた意見をそのまま記載)

- 鳥獣等の被害が心配 (12件)
  - ・不衛生になりやすく、カラスなどに荒らされる被害が出るから。
  - ・臭いやカラスや猫による散乱が嫌だから。
- 交通に関する懸念 (12件)
  - ・日中回収のまま戸別収集にすると渋滞するのではないかと思います。戸別収集と夜間収集はセットだと思います。
  - ・道路の景観を損ねる。道幅が狭いところでは車の流れが悪くなる。
  - ・戸別収集方式の自治体に4年住んでいたが、とても渋滞するし収集の人が轢かれそうだし、プラスチック容器包装は飛ぶ。
  - ・収集車がなかなか進まないで交通が混雑してしまう気がします。決められたところにごみを持っていく責任くらいは市民側にも必要と感じます。
- 収集員の負担増への懸念 (8件)
  - ・収集作業をしてくださる方の負担が増えるから。
  - ・収集業者が大変そう。
- ルール違反増への懸念 (7件)
  - ・他人が勝手に自宅前にごみを投棄したり、持ち去りなどの犯罪被害が発生したりする恐れがある。
  - ・自分の家の前に不法投棄されたらいやだから。

- ・ ルールを守れていない人がいるので、余計にゴミだらけの景観になりそうな気がする。

●その他（12件）

- ・ 名古屋、大阪、福岡とすべて同じようにする必要はないと思う。
- ・ 今でさえステーションが多いのでは？と感じる地域がある。ただし体が不自由な人への対策は必要なので、そちらに税金を使ってほしい。
- ・ 熊本市内で風が強いときに、ゴミが道路に飛び散っていたのを見たことがあるため。ただし、高齢者や障がい者の方々は戸別収集も必要だと思う。
- ・ ステーション収集方式を継続して、ごみストッカー（ボックス）を設置してほしい。特に生ごみの時はカラスが袋を破り汚くなる。
- ・ ごみステーションを利用することで近所の人と顔を合わせるによりコミュニケーションや近所付き合いにつながると思う。

【回答者の属性別にみた結果】

- 年代別：「現在のステーション収集方式で不便を感じないから」は20歳代が60.8%と最も高く、次いで80歳代（48.4%）、30歳代（25.0%）となっている。「多額の費用をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから」は30歳代が71.0%と最も高く、次いで50歳代（70.7%）、60歳代（69.3%）となっている。
- 「マンションやアパートの居住者に利益がないから」は30歳代が19.4%と最も高く、次いで20歳代（17.6%）、50歳代（14.0%）となっている。
- 「自分が出すごみのプライバシーが確保できないから」は30歳代が29.0%と最も高く、次いで40歳代（24.5%）、20歳代（23.5%）となっている。
- 職業別：「現在のステーション収集方式で不便を感じないから」はその他が78.3%と最も高く、次いで公務員（72.1%）、無職（70.6%）となっている。
- 「多額の費用をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから」は公務員が73.8%と最も高く、次いで自営業（72.1%）、会社員（69.3%）となっている。
- 「マンションやアパートの居住者に利益がないから」は会社員が16.0%と最も高く、次いでその他（12.3%）、自営業と公務員（9.8%）となっている。
- 「自分が出すごみのプライバシーが確保できないから」は学生が25.0%と最も高く、次いでその他（21.7%）、会社員（20.9%）となっている。
- 地区別：「現在のステーション収集方式で不便を感じないから」は西区が76.8%と最も高く、次いで北区（73.4%）、東区（69.9%）となっている。
- 「多額の費用をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから」は西区が70.5%と最も高く、次いで北区（67.1%）、東区（66.7%）となっている。
- 「マンションやアパートの居住者に利益がないから」は中央区が18.3%と最も高く、次いで東区（15.5%）、西区（9.8%）となっている。
- 「自分が出すごみのプライバシーが確保できないから」は西区が23.2%と最も高く、次いで中央区（17.3%）、南区（17.1%）となっている。

■属性別回答

	合計	現在のステーション収集方式で不便を感じないから	多額の経費をかけてまで戸別収集方式にする必要はないから	マンションやアパートの居住者に利益がないから	自分が出すごみのプライバシーが確保できないから	その他
全体	877	70.4%	66.7%	11.7%	16.3%	5.7%
<b>年齢別</b>						
20歳代	51	60.8%	62.7%	17.6%	23.5%	5.9%
30歳代	124	25.0%	71.0%	19.4%	29.0%	8.1%
40歳代	151	20.5%	68.2%	13.9%	24.5%	7.9%
50歳代	150	20.7%	70.7%	14.0%	16.0%	4.0%
60歳代	176	17.6%	69.3%	8.5%	14.2%	5.1%
70歳代	145	21.4%	56.6%	4.8%	3.4%	6.2%
80歳代	64	48.4%	62.5%	7.8%	6.3%	1.6%
<b>職業別</b>						
会社員	306	68.0%	69.3%	16.0%	20.9%	4.6%
自営業	61	68.9%	72.1%	9.8%	11.5%	1.6%
農林漁業	10	70.0%	60.0%	—	10.0%	10.0%
公務員	61	72.1%	73.8%	9.8%	18.0%	4.9%
学生	12	50.0%	41.7%	8.3%	25.0%	8.3%
無職	303	70.6%	63.0%	8.6%	11.2%	6.9%
その他	106	78.3%	66.0%	12.3%	21.7%	8.5%
<b>地区別</b>						
中央区	202	65.3%	66.3%	18.3%	17.3%	5.0%
東区	219	69.9%	66.7%	15.5%	16.9%	5.5%
西区	112	76.8%	70.5%	9.8%	23.2%	4.5%
南区	164	68.9%	64.0%	6.1%	17.1%	6.1%
北区	158	73.4%	67.1%	5.7%	10.1%	8.2%

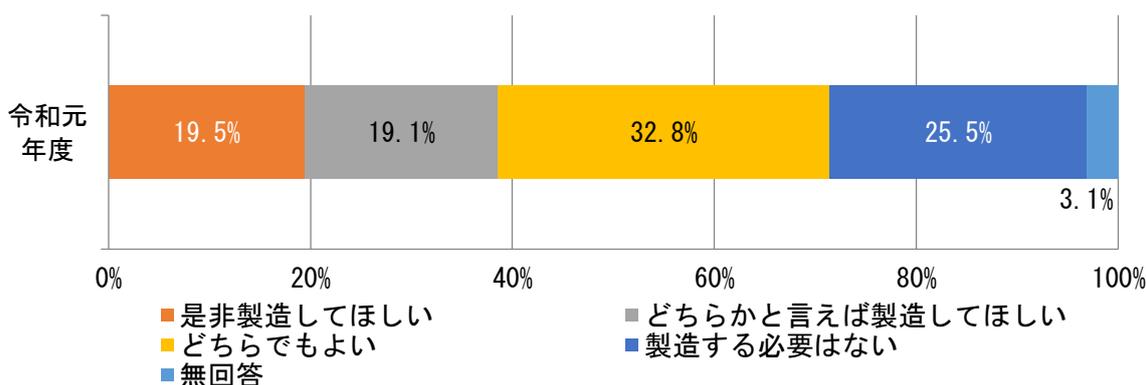
このページは空白です。

問23. 埋立ごみの特小袋を新規で製造することについてどう思われますか。(1つだけ)

令和元年度より埋立ごみの特小袋のニーズを把握するために新規で設問を追加し調査を行った。

「どちらでもよい」が32.8%で、次いで「製造する必要はない」が25.5%、「ぜひ製造してほしい」19.5%となっている。

「是非製造してほしい」、「どちらかといえば製造してほしい」を合わせた割合は38.6%であり「製造する必要はない」の25.5%を上回っている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「是非製造してほしい」は20歳代が27.5%と最も高く、次いで80歳代(25.8%)、30歳代(22.9%)となっている。

「どちらかといえば製造してほしい」は60歳代が21.8%と最も高く、次いで50歳代(20.7%)、70歳代と80歳代(19.4%)となっている。

「どちらでもよい」は20歳代が38.8%と最も高く、次いで60歳代(35.5%)、40歳代(35.2%)となっている。

「製造する必要はない」は70歳代が28.3%と最も高く、次いで40歳代(27.5%)、60歳代(26.4%)となっている。

「是非製造してほしい」、「どちらかといえば製造してほしい」を合わせた割合は80歳代が45.2%と最も高く、次いで20歳代(43.8%)、30歳代(41.7%)となっている。

職業別：「是非製造してほしい」は公務員が26.8%と最も高く、次いで無職(20.2%)、会社員(19.7%)となっている。

「どちらかといえば製造してほしい」は農林漁業が25.0%と最も高く、次いで学生(21.4%)、無職(19.7%)となっている。

「どちらでもよい」は学生が57.1%と最も高く、次いで自営業(40.2%)、その他(36.9%)となっている。

「製造する必要はない」は会社員が26.9%と最も高く、次いで自営業と公務員(25.6%)、農林漁業(25.0%)となっている。

「是非製造してほしい」、「どちらかといえば製造してほしい」を合わせた割合は公務員が46.3%と最も高く、次いで農林漁業(41.7%)、無職(39.9%)となっている。

地区別：「是非製造してほしい」は北区が22.2%と最も高く、次いで中央区(21.9%)、南区(18.5%)となっている。

「どちらかといえば製造してほしい」は西区が26.1%と最も高く、次いで東区(20.3%)、北区(20.2%)となっている。

「どちらでもよい」は東区が34.8%と最も高く、次いで中央区(33.1%)、北区(31.8%)となっている。

「製造する必要はない」は南区が31.9%と最も高く、次いで東区(24.6%)、中央区(23.5%)となっている。

「是非製造してほしい」、「どちらかといえば製造してほしい」を合わせた割合は西区が44.4%と最も高く、次いで北区(42.4%)、中央区(40.4%)となっている。

■属性別回答

	合計	是非製造してほしい	どちらかといえば製造してほしい	どちらでもよい	製造する必要はない	無回答
全体	1,130	19.5%	19.1%	32.8%	25.5%	3.1%
<b>年齢別</b>						
20歳代	80	27.5%	16.3%	38.8%	17.5%	—
30歳代	144	22.9%	18.8%	34.7%	23.6%	—
40歳代	193	19.7%	17.1%	35.2%	27.5%	0.5%
50歳代	184	18.5%	20.7%	34.8%	25.0%	1.1%
60歳代	220	14.5%	21.8%	35.5%	26.4%	1.8%
70歳代	191	18.3%	19.4%	27.7%	28.3%	6.3%
80歳代	93	25.8%	19.4%	17.2%	22.6%	15.1%
<b>職業別</b>						
会社員	375	19.7%	19.5%	33.3%	26.9%	0.5%
自営業	82	15.9%	17.1%	40.2%	25.6%	1.2%
農林漁業	12	16.7%	25.0%	25.0%	25.0%	8.3%
公務員	82	26.8%	19.5%	28.0%	25.6%	—
学生	14	7.1%	21.4%	57.1%	14.3%	—
無職	396	20.2%	19.7%	29.3%	24.5%	6.3%
その他	141	17.0%	19.1%	36.9%	24.8%	2.1%
<b>地区別</b>						
中央区	260	21.9%	18.5%	33.1%	23.5%	3.1%
東区	276	18.1%	20.3%	34.8%	24.6%	2.2%
西区	142	18.3%	26.1%	31.0%	21.8%	2.8%
南区	216	18.5%	14.8%	31.5%	31.9%	3.2%
北区	198	22.2%	20.2%	31.8%	23.2%	2.5%